

ホームルーム活動（人権）学習指導案

1 日 時

2 ホームルーム

3 主 題 名 結婚差別

4 主題設定の理由

ライフステージには、結婚という選択肢がある。生徒にとって結婚はそう遠くない現実かもしれない。日本国憲法第24条には「婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない」とあるが、実際は被差別部落に対する偏見や差別意識、世間体を気にするなどの結婚差別は現在も根強く残っている。結婚差別は個人の結婚の自由を奪う、不合理なことであり、絶対に許されない差別である。差別を見抜き、どう行動すべきかを考え、差別に立ち向かう意欲と行動力を身に付けさせたいと思い、本主題を設定した。

5 ね ら い

結婚差別の実態と不合理性を認識し、差別の本質を見抜く力や差別解消をめざす意欲と行動力を養う。

6 指 導 計 画

- | | | |
|------------------------|------------------------|-----------|
| (1) 進路指導 1 | —ゆるせない就職差別— | 1 時間 |
| (2) 進路指導 2 | —就職差別につながるとされる 1 4 項目— | 1 時間 |
| (3) 結婚差別 | | 1 時間 (本時) |
| (4) 世界の人権に関する諸問題 | | 1 時間 |
| (5) 人権アンケート (3 年間のまとめ) | | 1 時間 |

7 本 時

(1) 目標

- ①結婚差別のロールプレイをとおして、結婚差別の不合理性や差別意識に気付かせる。
- ②実際に結婚差別に直面した時に、どのように対応すべきかを真剣に考えさせる。
- ③結婚差別に直面したときには、その本質に気付き「差別をなくす」という一人一人の強い意識が必要であるということ認識させる。

(2) 普遍的な学習のテーマ・・・法の下での平等，個人の尊厳
個別人権課題名・・・同和問題

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容について知る。 結婚差別やその要因についてこれまで見聞きしたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な名称などは出させないよう配慮しながら、結婚差別やその要因について知っていることがあれば自由に発言させる。 結婚の問題に将来直面するかもしれないということを実感させ、本時は同和問題に関連する結婚差別について知り、考えを深めるように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容や目標について、正しく理解できている。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで、結婚差別の事例のロールプレイを行う。 ロールプレイをした感想や自分たちならばどのように対応するかなどをグループで話し合い、ワークシートに記入する。 グループごとに話し合いの結果を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 司会、記録、配役の係を設定し、円滑に進むよう支援する。 それぞれの役の立場になって考えながら演技し、考えを深めさせる。 ロールプレイの続きは自由に演じさせ、記録係に記録させる。 自分や周囲の人が差別に直面した時に、どのような態度をとるべきかを考えさせる。 他のグループの意見をよく聞き、様々な意見をもとに自分なりの考えを持つよう伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 結婚差別にはどのような要因があるのかを理解する。 差別に直面した時にどのような態度・行動をとるべきかを真剣に考える。 一人一人の意識が差別解消につながることを理解する。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返りながら感想を書き、まとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容をまとめ、一人一人の意識が差別解消につながることを認識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自身の考えをまとめ差別解消につなげることができる。